

現行計画「京都府農林水産ビジョン」について

令和元年 10 月にスタートした京都府総合計画における農林水産分野の目指すべき姿や施策の方向性を体系化及び具現化し、農林水産施策における今後の取組の方向性を示す「京都府農林水産ビジョン」を令和元年 12 月に策定しました。

『京都府農林水産ビジョン～希望と活力に満ちた農林水産業と農山漁村暮らしの共創～』

本格化する人口減少社会の到来やグローバル化する経済社会環境を踏まえ、京都ならではの多様で特色ある農林水産業や農山漁村を次の時代に確実に引き渡すことを使命として、中長期的な視点から、今後の農林水産行政を計画的かつ総合的に進めるため、農林水産業や農山漁村の希望ある将来ビジョンを示すとともに、歴史・文化、産業や大学の集積など京都の強みをフルに生かした取組を集中展開するための戦略を掲げたものです。

京都府の農林水産業・農山漁村の将来ビジョン ～概ね 20 年後に実現したい姿～

○ ビジネス（農林水産業）

魅力的な「産業」として夢あふれる
農林水産業のイノベーションを実現

○ コミュニティ（農山漁村）

地域の人々の希望と
活力に満ちた農山漁村を実現

○ セキュリティ（安心・安全）

防災対策や食の安全確保など
安心・安全な地域社会を実現

5つの重点戦略 ～将来ビジョンを実現するため今後4年間で集中展開～

戦略 1 スマート&コラボで農林水産業の夢と未来を創る

- 中山間地域が多い等の特性を踏まえたカスタマイズで「スマート農林水産業」を実現
- 産地と実需者との情報共有、小規模経営者への伴走支援で農商工連携を面的に拡大

戦略 2 「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で健全な森林を目指す

- 新たな森林管理システム等を契機とした総合対策で持続的な林業経営、木材供給の拡大を実現
- 奥地等の森林保全や風倒木対応、府民への情報発信等で、山地災害対策を強化

戦略 3 「京都らしさ」を生かしたバリューチェーンで国内外への展開を加速する

- 消費者ニーズに即した差別化戦略や京の食文化のフル活用で新たな需要を開拓
- 機能性やおいしさなど「高品質」の見える化で信頼の基盤を構築

戦略 4 人づくりの裾野を広げ多様な人材が育む産業・地域を実現する

- 法人のインキュベーションや働き方改革、企業参入、集落営農の強化等で担い手を確保
- 移住者や副業・兼業者等の外部人材と地域を橋渡しすることで「半農半X」等を拡大

戦略 5 地域住民に寄り添い、強みを磨いて農山漁村（ふるさと）の絆を守る

- 多様な形で継続的に地域と関わる人々の創出と、仕事・住居等の一体的支援で移住を促進
- 地域資源を生かしたなりわいづくりや観光等で持続的な農山漁村コミュニティを形成

